

## よくある質問・注意事項

### 施術の感覚について

個人差がありますが、照射時の眩しさと、輪ゴムで弾いたような刺激を感じます。コンタクトクーリング方式により皮膚接触面は冷却されますが、皮膚内部では温熱効果を感じます。

### 施術の効果と回数について

個人差がありますが、美容では平均5回以上の施術をおすすめします。お肌の質感は1回でも効果を感じていただけることが多いです。ドライアイでは約3週間おきに計4回の施術が1クールとなります。いずれも継続して施術することで効果を高めることができます。

### 治療の流れ

- ① 照射部位のメイクを落とします。
- ② 眩しさ防止のため専用のアイパッチを装着します。
- ③ 照射部位にジェルを塗布します。
- ④ IPLを照射します。
- ⑤ 照射終了後、アイパッチを外し、ジェルを拭き取ります。
- ⑥ 洗顔、クーリングを行い、お化粧も可能です。  
(ドライアイ照射では温熱効果を保つためクーリングは不要です)

### 施術時間

ドライアイは約5分、美容では照射範囲によりますが、全顔で約20分です。

### 施術後の注意

施術後は紫外線からお肌を守るため、日焼け止めをご使用ください。また、熱いお風呂や激しい運動は5日程度お控えいただきます。お肌の保湿を行ってください。

### 禁忌

- ・ 光過敏症の方、光過敏を促す薬を服用している場合
- ・ 強い日焼けをしている場合
- ・ 妊娠中の場合
- ・ 糖尿病性合併症および重度の皮膚疾患を有する場合

### 医師の指導が必要

- ・ 過去数ヶ月間にヘルペス症状を経験した場合
- ・ 高血圧である場合
- ・ IPLに過度な期待をしている場合



## ドライアイを緩和する最先端光治療 美しさを手に入れる至高の光美容

### このような方におすすめ

- ☑ しみ、そばかす、くすみが気になる。
- ☑ 肌質を改善し、化粧のりをよくしたい。
- ☑ お肌にキメ、ハリを持たせたい。
- ☑ お肌を美白、トーンアップしたい。
- ☑ 顔の赤み、ニキビ跡を改善したい。
- ☑ ダウンタイムの無い治療を行いたい。
- ☑ 毛穴の開きや黒ずみを改善したい。
- ☑ ドライアイを改善し、目に潤いを持たせたい。

Intense Pulsed Light  
**AQUA CEL**

医療機器認証番号：303ADBZX00049000  
機械器具 12 理学診療用器具  
一般的名称：キセノン光線治療器 (JMDNコード：70606000)  
管理医療機器・特定保守管理医療機器



製造元  
**Jeisys**

# Photo [フォトリジュビネーション] Rejuvenation

透明感、ハリのある本来の美肌を呼び覚ます

## 美白効果

過剰に生成されたメラニンを分解し、シミ・そばかす・くすみ・赤みを改善

## キメ・ハリ

真皮層を刺激し、コラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸の生成を促す。

IPL 光美容

AQUA CEL

光のシャワーで  
その瞳に、潤いと輝きを。

MGD・ドライアイ IPL 光治療

AQUA CEL

## しみ・そばかす・くすみ

IPLの光は、過剰に生成されたメラニン色素に作用するため、シミや・そばかす・くすみなど改善する効果が期待できます。反応したメラニンは、皮膚のターンオーバーにより肌の表面に浮き上がり徐々にがれ落ちます。肌全体のくすみの改善、トーンアップ効果もあり透明感のあるお肌に導きます。

## 赤み・赤ら顔

IPLの光は、ヘモグロビンに反応して、毛細血管が異常に拡張してしまい赤みとなって現れたお肌を改善する効果が期待できます。赤い色素に反応して抗炎症、色素を改善するため、酒さや毛細血管拡張症に加え、にきび跡の赤みなどにも有効です。

## ハリ・キメ・セミリフトアップ

IPLの光は、真皮層に届くと線維芽細胞が活性化し、コラーゲンやエラスチンなどの生成を促し、保湿力そしてハリのあるお肌へ導きます。ハリ・キメがアップすることでたるみや小じわ、毛穴の改善効果も期待できます。

## 脱毛

IPLの光は、毛根のメラニンに反応することで、毛乳頭の毛母細胞を破壊します。また発毛を促すバルジ領域にもダメージを与えるため、効果的な脱毛が期待できます。



## ニキビ

IPLの光は、アクネ菌の代謝産物であるポルフィリンに反応することで、アクネ菌を殺菌しニキビを改善する効果、ニキビ予防が期待できます。

## 最先端のドライアイ・MGD治療

涙は、涙腺から分泌される涙液層と眼瞼のマイボーム腺から分泌される油層にて構成されています。ドライアイの多くは瞼の炎症やマイボーム腺の質の悪化による油分の供給不足にあります。IPLは瞼の炎症を改善するとともに、温熱効果により凝固固まったマイボーム腺を融解することで十分な油分を涙に供給します。

## 涙の油の重要性

近年の調査ではドライアイ全体のうち、油が足りないタイプは約86%と多くを占めていることが分かりました。油は涙の蒸発を防ぐ大変重要な役割をしております。変質したマイバム(油)は温熱法の温熱効果では十分な効果が得られない可能性があり、IPLの光照射が必要です。

## 霰粒腫に対する切らないアプローチ

IPLの光は、霰粒腫の切らない治療としても注目されています。

- 1 抗炎症**  
異常血管の凝固、縮小による炎症性サイトカインの抑制
- 2 マイバムの融解**  
温熱効果により凝固固まった油を融解し、開口部の閉塞を解除
- 3 細菌叢の減少**  
感染・炎症の素になる細菌叢(デモデクスの減少)
- 4 コラーゲン再構築**  
熱刺激によりコラーゲンを再構築し、マイボーム腺機能修復

## 目元を洗う専用シャンプーで治療効果をアップ

セルフケアとして「マイボシャンプー-TeaTree1.0」を使用し、毎日目元を洗うことで、治療効果のアップが見込めます。TeaTreeが1%配合されていることで抗炎症作用およびデモデクスを減少させる効果があります。またマイボーム腺の開口部を清潔に保ち、油の詰まりを防ぎます。花粉症対策にも最適で、目の健康を維持するために日常使いすることをおすすめします。



IPLの効果には個人差があり、5回以上の継続施術をおすすめします。

約3週間おきに計4回の施術を行います。